

Year: 2003

Location: Japan

Program: 美術館

東京デザイン美術館



敷地の条件から10年以内の仮設建築が要求されたため、柱には再生紙による紙管を、壁面にはコンテナを、屋根にはスペースフレームを利用し、いずれも解体後はできるだけリサイクルやリユースできるような提案としている。正面のガラス・スタッキング・シャッターにより目の前に広がる海へとつながるような領域が作り出される。